



応募名称

# エコロジカルはエコノミカル！ ～木質バイオマスボイラー導入などCO<sub>2</sub>削減活動 を含む環境マネジメント～

会社名、事業場名

井村屋グループ株式会社  
三重県津市 / <https://imuraya-group.com/>

■ 具体的な取組内容 ■

【目的】

当グループでは「エコロジカルはエコノミカル」の考えの下、CO<sub>2</sub>削減の取組を実施しています。

2010年～2012年に主力商品であるBOXあずきバーの「カーボンフットプリント」認証取得の過程において、CO<sub>2</sub>排出量全体のうち生産・流通過程で55%を占めていることが「見える化」されたことにより、生産に必要な「熱」と流通時の「冷凍」にかかるエネルギーマネジメントを見直す契機となりました。

【具体的な内容】

2015年、主力熱源であった天然ガスボイラーの代わりに再生可能エネルギーを熱利用する木質バイオマスボイラーを導入し、天然ガスの使用量を減らしています。次に、2016年に従来の3倍以上の収容能力とノンフロン、高効率冷凍機を有する複合冷凍施設「アイアイタワー」が稼働、商品の外部保管の委託量の減少などの取組と合わせることで、CO<sub>2</sub>を大幅に削減しています。

こうした取組により、J-クレジット制度では4,904t-CO<sub>2</sub>のクレジット量が認証され、2017年4月に三重県伊勢市で開催された第27回全国菓子大博覧会（お伊勢さん菓子博2017）において、他社と合同で会期中の排出量3,700tのCO<sub>2</sub>をオフセットすることができました。

また、常温・冷蔵・冷凍の三温度帯で多様な商品を製造する当グループでは、生産工程において規格外商品が発生します。食するには問題はありませんが、商品としては出荷できない規格外製品は、グループ会社であるイムラ株式会社において「MOTTAINAI屋」として週1回、主旨の理解を得て地域の方々に販売することにより廃棄物削減に繋がっています。

【効果】

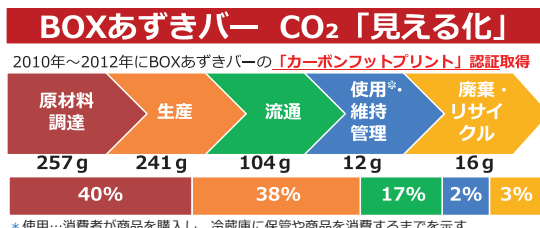
- ・BOXあずきバーでのCO<sub>2</sub>「見える化」への取組として、カーボンフットプリント認証を取得
- ・木質バイオマスボイラー稼働によるCO<sub>2</sub>削減効果 約3,600t/年
- ・複合冷凍施設「アイアイタワー」稼働によるCO<sub>2</sub>削減効果 約440.9t/年
- ・MOTTAINAI屋による規格外商品の販売



複合冷凍施設



カーボンフットプリント  
認証商品



■ 今後の展開 ■

本社工場で使用している用水の源流である森林の環境保全活動への参画や各種原材料調達における環境マネジメントの推進を図り、持続的成長に向けた取組を継続していきます。

また、当グループでは食品産業に従事している企業としての社会的責任として地球環境に優しい活動を推進していきます。

■ 評価 ■

エネルギー使用量やCO<sub>2</sub>排出量を可視化し、定量的分析に基づいて省エネ施策の全般をトータルに考え、最適かつ効果的な省エネルギー対策を組織的に着実に実施している。環境に配慮した再生可能エネルギーの導入等のもとより、関連会社とともに、消費者の理解を得て規格外品の販売による廃棄物の削減にも取り組み、食品産業として環境負荷低減に組織的に取り組んでいる点が評価できる。